

あなたに
とって戦争は
遠い話ですか？



戦争についてあなたが 思うことは？

6月24日ふれあい福祉センターで戦争についての座談会を行いました。20代から80代の方に集まっていただき、それぞれが思うことを語ってもらいました。

戦争のイメージは？

菅野 悲惨なもの。学校では習いますが、自分では体験なので身近に感じられない。

辻 悲惨なもの、怖いもの、これからないものであって欲しい。

土田 人間の醜さが表れているもの、人間を否定している行為。戦争を繰り返す行為は不思議でならない。私はいち市民として戦争を繰り返さないように、原爆の恐ろしさを語り継ぐ活動



動をしている。

被爆にこだわる理由は広島への修学旅行、平和記念資料館のインパクトが大きかった。その後、被爆伝承者の方と知り合ったことが活動につながった。

中村 私は被爆二世ですが意識はしていない。母は被爆したのだけれど、あまりにも悲惨で話しながらなかった。今思うと、もう少し母の話聞いておきたかった。

活動はノーベル平和賞がきっかけで長友会（長野県原爆被害者の会）に入会し、広島・長崎原爆パネル展を開催した。始めは関心がないと思っていたが、戦争の悲惨さを皆が知ろうとしていると感じた。展示会も開いている。



かわらばん
座談会

戦争は独裁者が思い通りにしたいとの考えから起こしているのだと思います。ただ、被害は子どもにまで及んでいる。

野池 50年沖縄で暮らしていて長野県民との意識の差を感じている。沖縄は唯一、地上戦があった場所で0歳児も含め9万人が犠牲になった。その上、基地を押し付けていることは不条理。

戦争は一言では言えない。ただ、沖縄県の基地を無くして欲しい。かわりに引き受けてくれる知事はいないだろうけれど...

日本は被害国であり 加害国でもある

内山 ベトナム、カンボジア、中国など現地を取材してルポを書いた。きっかけは、幼い時、普段優しい父が戦時に平気で人を殺めた事実を知った時、「戦争は人を変えてしまう」

誰の内にも鬼がいる」と思ったことだ。
取材で知ったことは、「同調圧力の中で、我々もまた加害者になり得る」という怖さだ。

戦争を語る時、私たちは被害者の視点だけでなく、日本の加害者としての歴史を忘れてはならない。

今の戦争について

菅野 関わりたくない。やはりあつてはならないと思う。

辻 平和に生きて欲しい。でも殺さなければ殺されると思っている。

内山 戦争になれば、平和な時の気持ちが変わってしまう。

野池 為政者が、国民にさせようとしている

中村 逃げたい、他人を殺めたくない。

土田 いまの国政は、国を守るためにどの理由で過剰な防衛費を増強して怖い。対話が重要だ

もし戦争になったら

内山 Noと言える人間でいられるか。とても勇気がいること。

菅野 反対と言えるかもしれない。自分を守ると思う。

辻 反対と言えないと



座談会の様子

思う。

中村 腹を立てる人がいなくなった。エネルギーを感じない。Noと言える仲間を増やしたい。

野池 沖縄では式典で犠牲者の名前を読み上げている。よりリアルに戦争を感じ取ることが出来る。犠牲者〇人という数字で表せないものがある。外国人も犠牲になっている。

土田 一番いけないのは無関心であることだ。歴史を学ばなければい

けない。

菅野 戦争のことを聞く機会が限られている。辻語り継ぐ、伝えることが大事。

内山 自分も加害者になるかもしれない。その場に立つと人が変わってしまう。過去、私たちも多くの過ちを犯してきた。だから両方の立場でみる必要がある。

新たな気づき

土田 関心を持つ一つは選挙に行き、自分に近い

考えの人を選ぶこと。
内山 選挙情報にはフェイクも混じっている。情報を見極める力も必要。
辻 沖縄のことなど興味を持つことが大切で、関わっていいと思う。
中村 今はどうしたらいいかわからない。想像力を研ぎ澄ますことが大切かな。
内山 想像力はとても大事。紛争地では、この瞬間にも多くの子どもや女性やお年寄りが犠牲になっている。その一つひとつの命を想像できるか。
野池 考えているだけではなくて行動を起こすことが第一なのでは。

危うさを感じる？

菅野 戦争のことをみんな考えていない、勉強不足を感じる。行動に移さなければ。
辻 SNSに流されない。
土田 武器輸出が可能になりハードルが低くなつてしまっている。非常に心配だ。
中村 先島諸島はミサイル基地を急いで進めているので、「エッ」と思った。反対の声や意思が薄い。
野池 沖縄の問題を共に考えてもらう場を作っていきたい。若者がチヤッピで投票先を決めるというのを聞きショックだった。平時から政治のことも普通に語り合える仲間づくりが必要と思う。
土田 今の社会は危険な感じがするから私も負けない活動をして平和を守りたい。
内山 SNSや政権の主張に流されないで、しっかり時代状況を見つめ、自分の頭で考え積極的に行動することが大切だ。

座談会を通して

今回の座談会は、戦争の悲惨さを語り継ぐ活動を続けてこられた方と20代のボランティアに関わっている方を招待した。
前者は活動する中で今、日本が進む方向に不安を感じている。ロシアのウクライナ侵攻に始まり、パレスチナ・イスラエル問題、アメリカのイラン攻撃、ホルムズ海峡の閉鎖など世界は平和に逆行し、日本も防衛強化に進んでいる。被団協がノーベル平和賞を受賞した事実を忘れたかのようだ。
後者の若者は実感がわかないもの。他人事とは捉えていない。今回

のように年配者と直接話をすることで、戦争の悲惨さを再認識し、何ができるだろうかと考えのきっかけとなったようだ。
原油問題で生活に影響が出ている中、単純に物が無いとか、物価が高いとかにだけ関心を向けるのではなく、現地では多くの犠牲者がいることを忘れてはいけません。そのためにも何か行動に移すことを考えさせられた座談会となった。



「はだしのゲン紙芝居」上演会

戦争や核兵器の恐ろしさと同時に命の大切さや、かけがえのない家族への思いを紙芝居5編で伝えます。

紙芝居の声優をボランティアで募りました。練習の成果も期待してください。参加費無料 申込不要

日時:8月8日(土)14:00~16:00

会場:長野市ふれあい福祉センター5階ホール



第41回長野空襲を語るつどい

戦争を経験した人が少なくなり、その事実の風化が心配されています。また、世界ではウクライナなど戦争で多くの命が奪われています。この現実を見るにつけ、かつて長野市にも空襲があり犠牲者が出たことを忘れてはなりません。

日時:8月13日(木) 9:30~11:30

場所:長野市ふれあい福祉センター5階ホール



編集後記

今年も8月が来ます。年々戦争の語り部が減る中で、戦争に向き合うことを忘れずに活動されている皆様に感謝を申し上げます。
SNSを通じて呼び掛けて集まるデモが全国で広がっている。20代から40代が国会議事堂前で反戦を呼びかけているニュースが流れた。小さくも大切な声が続切れることなく上がっていることに希望を感じた。
座談会では政権に対する痛烈な批判も語られた。日本では終戦に合わせて反戦、反核の声が聞かれるが、いつでも取り上げる必要があるのではない。特に今。



助成金の行き先決まる 助成金獲得へのプレゼンテーション 工夫をこらした団体を紹介

6月20日ふれあい福祉センターに於いて助成金の公開審査が行われ、10団体がプレゼンテーションに臨みました。大小あれどボランティアをする上で資金は必要です。助成金の制度はありますが、ただ「お金が欲しい」だけではもらえません。各団体が助成金獲得のために工夫をこらした3分に挑戦しました。その一部を紹介します。

地域保健室よりそい支援センター長野

代表の方は海外での保健師の経験を活かし、海外システムを長野でも実施しようと今年4月に団体を立ち上げました。町の保健室をつくり、気軽に相談に乗りたいと意欲を示しています。初めての審査で緊張し上手く伝えられなかった配だと言いますが、「多くの人と知り合いたい、アドバイスをいただきたい」というもう一つの目的は達せられました。

いからやっている。助成金が獲れなくても継続していく」と代表は語っています。

長野クリーンプロジェクト

中山間地の道路脇の整備は住自協が中心となつて実施しますが、ボランティアに頼らざるを得ません。長野クリーンプロジェクトは高圧洗浄機を購入しガードレールの洗浄を通して環境美化への貢献を考えています。業務プランと欲しい道具が明確となつているケースです。「行政へのアプローチもおこないますがやりた

湯谷団地みんなの会

団地内の付き添いボランティアを主に活動している団体です。チャリンなどの運営資金を獲得しようと申請しました。結果は合格でしたが、審査員から「一事業

長野地域難聴者の会 ラ・ビット

障害者が集まる団体ですが、これまでの内向きの活動を外向きに変えたい、多くの人に知って欲しいと願い新たなフェーズに移ろうとしています。情報発信によって話す機会を増やし、難聴者が孤立しない社会を目指しています。

唯一ドラマ風のプレゼンを実施した団体で、半日ほど練習をして臨みました。「みんなニコニコして聞いてくれた。発表者のなかで一番頷いてもらえた」と手応えを感じていました。

フレンズ・エンターテインメント・EX

レコードサロンの開く団体ですが、一回目の審査では満額獲得には至りませんでした。その後、特別審査員の女子学生の感想で「レコード」が印象に残ったと語られると、二回目の審査で得点が伸び、満額獲得となりました。

判定する審査員は6名で、判定権のない特別審査委員が3名います。今回、10代学生の意見に審査員の心も動かされた一場面でした。

◆ ◆ ◆
特別審査員を起用している理由のひとつに



プレゼンテーションの様子

「若者にも活動が理解でき共感できるか」とあり、価値観の違いを知る機会にもなっています。正に会場にいる全員が価値観の違いに気づいた審査会でした。



毎月第3水曜日に開催している月例情報市場は、申込み不要、参加無料で開催しており、当日までどんな方が来るかわかりません。若い女性がチラシを持って入ってきました。声をかけると「ボランティアじゃなくてもいいですか?」と。誰でも参加できますのでどうぞと席にご案内しました。

司会は理事の西沢さんで、毎回自己紹介から始まります。その方は、東京から夫の転勤で長野に来て、占いをやっており、仲間と一緒にイベント開催するが集客が難しいとのこと。占いをやっている女性たちが活躍できるようにしたいという相談を持ちかけられました。

ボランティアも活動するのに資金が必要で、集客は課題です。参加者からのアドバイスが飛び交いました。いつも愛ある厳しい意見を出すご常連の方からもエールをいただきました。

実は、日本語がわからないために学校に行きづらい外国人の子どもの学習支援もしているとのこと。他の参加者から子どもの権利擁護のセミナーのお知らせがあり、お祭りの実行委員をしているので占いで出店してほしいとなることができました。

こういうところが情報市場の面白いところです。終了後も参加者同士の名刺交換や情報交換は続いていました。



なかむらかずき
中村一貴さん (30 歳)



「ボランティア活動を通して人間関係が広がったのは大きい」と話す中村さん。ネット配信の長野TVと長野市災害ボランティア委員会に所属している。長野TVでは放送機械やカメラ操作を担当している。長野市災害ボランティア委員会では災害関連イベントや講演会に出たり、災害支援関係者の情報提供共有会議や訓練運営を手伝う。本職はシステムエンジニアだが、そのスキルを発揮できる活動だから楽しいという。

以前NPO法人 Happy Spot Club が千曲市で運営した生きづらさを抱えた人たちの居場所「ごちゃまぜカフェ」に出入りしたり、同法人開催イベント「ハピスポひろば」にも参加した。その後ごちゃまぜカフェは閉所で別の場所に「かえるのいえ」というみんなの居場所ができ、そこでも週1, 2回ボランティアスタッフをしている。「いろんなところに手出しちゃってます」と照れる。

自分の好きなところは大らかなことだそうでよほどのことがないと怒らないとか。ボランティアしていると頼まれた事以上にやってあげたくなってしまうとか。「ゆったり、まったり、リラックス」が信条で「現状維持で無理せず幸せに暮らせたらいいですね」。現在育児に仕事にボラと三刀流。同席した奥さん、娘さんとニッコリ笑い合った。

(大日方)

社会体験でボランティアセンターに来てみたら！

6月30日から4日間、信州大学附属中学校の2年生が「14歳の問」という生き方に対する問いを引く提げボランティアセンターにやってきました。様々な活動者と出会う中で若者の価値観が揺さぶられたようです。

「体験プログラム・ヒューマンウィーク」という授業があります。4日間、自らがたてた価値観についての問いを更新するために、事業所で社会の一員として実習を行います。そして選ばれたのがボランティアセンターでした。

女の子と話したくてボランティアを始めたら、反戦デモに疑問をもつベトナムへ向かった人、外国人に日本語を教えてほしいと頼まれて教室を始めた人、正直面倒臭いと思いましたが、しそんな心配はよそに、ボランティアに携わる方々のお話を聞きました。

めた人：皆さんに共通したのは先ず挑戦することでした。挑戦して、色々な人との出会いを通して視野が広がり、価値観、考え方も変わり、おのずと自分のやりたいことが見つかりました。

私達も今回の体験で沢山の価値観・考えを持つ人と出会えました。その中で人生のヒントとなる言葉もいくつかもらいました。特に印象的だったのが「登山は長い人生と同じで、コースやペースは他人と違って良い。自分の足で一步一步踏みしめていけば、自ずと高みに、そしてより深い世界へ到達する」という言葉です。

これはタンザニアで出会った登山ガイドの言葉です。人と比べず、自分がやってみたいと思ったことを挑戦する事が大切で、それが結果的にやりがいのある仕事として発展していく、というのだと思います。(中学生の感想より)



ボランティア学習の様子

■家庭訪問型子育て支援ボランティア募集

子育て支援ボランティアを募集しています。子育て経験がある方。養成講座を修了していただく必要があります。

まずは説明会にお越しください。

日時 9月11日(金)10:30~11:30

場所 もんぜんぶら座 302会議室

問合せ ホームスタート・ながの子どもの城

TEL 080-9579-2078 (担当:中島)

■令和8年度 同行援護従業者養成研修

視覚障害がある方が外出するときにご本人に同行し、外出する際に必要な援助を適切かつ効果的に行う支援の研修です。視覚障害がある方が社会参加や地域生活において無くてはならない支援を提供するための研修です。

研修日程 9月11日(金)他、合計6日間

場所 社会福祉法人信濃の星 共同研修センター 研修室

定員 14名

申込締切 8月28日(金)

問合せ 共同研修センター (担当:中沢優子)

TEL 026-225-9010

■第20回大人の発達障がい当事者会

「カノンの会」交流会

当事者同士だからこそ分かり合える悩みや、相談事などを安心して話せる場所です。もしかしたら発達障がいかなと思っている方も、お気軽にご参加ください。

事前にお申込みが必要です。

日時 9月12日(土)13:20~16:40

場所 もんぜんぶら座 7階701号室

対象 当事者及びご家族の方

参加費 無料

問合せ カノンの会 (担当:宮下)

TEL 080-8821-3327



いつも傾聴でんわ

哀しかった・辛いな・嬉しいことがあった
どんなことでもお話しください。

お電話
待ってます

TEL 026-225-0404

月・土 14:00~18:00 水 14:00~21:00



インターネット放送局「ながのTV」の生放送番組
毎月第2火曜日19時ON AIR

長野ボランティアステーション

8月11日(火)は

「ブラナガノin鬼無里」です。

出演者大募集中

お問合せ/長野市ボランティアセンター



長野市ボランティアセンターへ
ご寄付ありがとうございました!

ハガキ、切手、テレフォンカード、ベルマーク等
(6月12日~7月15日分)

岡田京子 瀧澤史貴 松下泰子 瀧澤行政書士事務所

長野信用金庫 朝陽地区「えがいの会」

社会福祉法人信濃の星 長野地域難聴者の会ウ・ビット

信里小学校 長野市市民税課 信州新町福祉センター

シニアアクティブルーム カガヤキひろば安茂里

カガヤキひろば氷鉦 匿名18名(敬称略・順不同)



どなたでも
「ふらっと」
参加できます



長野市ボランティアセンターで開催しています

問:長野市ボランティアセンター TEL:026-227-3707

エコ封筒を作ろう

古いカレンダーを再利用して封筒を作ります。年齢・性別を問わず、ご参加いただけます。



9月1日(火)・10月6日(火)
11月10日(火) 10:00~11:30

切手の小箱サロン

チーズやお菓子の空き箱に古切手を貼ってステキな小箱を作ります。のんびりゆっくりおしゃべりしながら楽しい時間を過ごしましょう。



8月7日(金)・9月11日(金)
10月9日(金) 13:30~15:30

ねこはんでんサロン

ねこはんでんの作り方を教えていただけます。楽しく、おしゃべりしながらご参加いただけます。お気軽にお越しください。

8月7日(金)・21日(金)・26日(水)・9月3日(木)
7日(月) 開催時間はお問合せください



グリーンボラカフェ

花や緑が好き、ちょっと園芸にかかわってみたい方など、どなたでも気軽に参加していただけます。

8月6日(木)観葉植物のお手入れ、芝刈りくん作り
9月10日(木)秋~冬、来春の花壇 13:30~15:30



＜公式LINE＞

長野市ボランティアセンターより様々な情報を発信しています。お友達になってください。



＜Instagram＞

地域や市社協の活動等情報発信しています。フォローをお願いします。



「ボランティアかわらばん」音声でも楽しめます

視覚障がい者への音訳ボランティアグループ「やまびこ会」による音訳版「ボランティアかわらばん」を長野市社会福祉協議会のホームページで公開しています。



講座

■2026年度信州まちの減災ナース養成セミナー 4回シリーズ

災害に強くなる知恵と技を住民の間に普及する地元密着型の減災ナースを養成します。医療従事者（病院や福祉施設等で仕事している人）ならどなたでも受講可。

潜在看護師の方も参加してみませんか。

日時・場所 8月9(日)9:30~16:30 トイーゴ
9月13(日)13:00~16:00 豊野防災交流センター

問合せ 信州まちの減災ナース(担当:宮崎)

TEL 090-4462-4698 メール saito-@u-seisen.ac.jp

■団体が成長するための組織づくりを考える オンライン講座

Vol.5「収支・財源」・Vol.6「ファンドレイズ」

活動を継続するために、欠かせないお金のハナシをしましょう。団体の収支バランス・ファンドレイジングについて学びます。2回とも参加されると効果的です!!

日時 8月22(土)10:00~12:00/9月5(土)10:00~12:00
オンライン(ZOOM)

講師 相澤順也さん

対象 長野県内の市民活動団体等

参加費 無料 申込締切 開催2日前まで

問合せ 長野県NPOセンター TEL 026-269-0015

メール kyumin-katsudo@mirai-kikin.or.jp

お知らせ

■“腹八分目、生活習慣予防”

人には寿命と、食の寿命があります。腹八分目に抑えると、徳を積む事になるそうです。食べ過ぎは血液を汚し毒素となり腸を汚す原因となり病気になりやすいです。 日

時 8月8(土)13:30~

場所 長野市ふれあい福祉センター 4階会議室2

講師 sowing.net代表 高遠由美 氏

定員 20人 参加費 500円

申込締切 8月7(金)要予約

問合せ・TEL 090-2179-9741(担当:高遠)

メール sowing.net@gmail.com

■被爆81年過去を学び・平和を考える 「はだしのゲン紙芝居」上演会

戦争の無意味さや原爆被害の実相と核兵器の非人道性を伝え、核兵器廃絶と平和への思いを紙芝居で伝えます。

日時 8月8(土)14:00~16:00

場所 長野市ふれあい福祉センター 5階ホール

問合せ 被爆体験を聴く会(担当:土田)

TEL 090-4011-6630

メール noboru.mail6630@gmail.com

■長野空襲を語る集い

みなさん、長野も空襲されて47人の犠牲者が出たことをご存知でしたか?長野空襲について知り、平和と戦争について考える機会にしたいと思っています。

日時 8月13(木)9:30~11:30

場所 長野市ふれあい福祉センター 5階ホール

問合せ・TEL 090-5550-6695(担当:傳田豊美)

■お盆を楽しもう!!

今年もお盆を楽しみましょう。

終戦記念日であることも決して忘れないで、平和な日常が続くことを祈りながら、おいしい食事を頂きます。
(子ども食堂さんと交流あり)

日時 8月15(土)

場所 長野市ふれあい福祉センター 4階和室

対象 精神障がいに関心のある方(当事者・家族・一般)

参加費 300円

問合せ ホワイトナッツ(担当:本田)

TEL 026-226-8740

■発達障がい者サポーターカフェ いちごカフェまつしろ

発達障がいをお持ちの方やその家族、身近な理解者が気軽に集えて笑顔で安心して話せる場です。情報交換や相談もできます。医師の診断はいりません。申込み不要。

日時 8月22(土)10:00~12:00

場所 まち歩きセンター伝承館(長野市松代町松代577)

参加費 300円

問合せ いちごカフェまつしろ(担当:きたむら)

TEL 090-4461-1403(ショートメール可)

■MC Jhonnyのレコード・サロン

今回は夏サウンドを楽しもうの2回目です。ハワイアンの中クレライブもあり、夏の暑さを楽しみましょう!

日時 8月25(火)10:30~

場所 長野市ふれあい福祉センター 4階会議室3

問合せ フレンズ・エンターテイメント・EX

メール hmet.2435@gmail.com

■女声合唱団こ〜る★ず〜

第5回演奏会 20th Memorial Stage

長野市立西部中学校PTAコーラスとして活動を始めてから満20年を迎えます。この間支えてくださった皆様に感謝の気持ちを込めて演奏会を行います。お越しく下さい。

日時 8月29(土)14:00開演(13:30開場)

場所 長野市芸術館 リサイタルホール

問合せ こ〜る★ず〜(担当:田中久代)

TEL 090-1731-3761

■〜犬と歩けば心がつながる〜

長野市「犬の散歩ができる公園」景

長野市の犬が入れる公園で過ごす家族と犬の幸せな時間を写した写真展です。

写真に写る穏やかな風景から愛ある温かな社会へのご理解を深めていただければ幸いです。

開催日 9月1(火)PM~8(火)

場所 もんぜんぶら座 3階市民ギャラリー

問合せ NPO法人家庭犬育成協会 パドックNAGANO

TEL 090-3223-8356(担当:長谷川)

■らくらく倶楽部 秋の彼岸寄席

秋の彼岸寄席にご来場を

日時 9月6(日)13:00開場・13:30開演

場所 長野市ふれあい福祉センター 5階ホール

問合せ らくらく倶楽部(担当:返町)

TEL 026-243-4054



募集 ボランティアコーディネーター 養成講座 第2回

ボランティアコーディネーターってどんな人？ 大事にしたいコーディネート軸について学びます。

日時 8月5日(水) 13:30~16:00

場所 長野市ふれあい福祉センター

講師 小林博明さん

(ボランティアセンター運営委員長)

《事例提供者》

浅倉信さん(第三地区住民自治協議会事務局長)

黒岩秀美さん(中条生活支援グループなかちゃん)

坂口和美さん(社会福祉法人絆の会)

参加費 500円

予告 イオンの幸せの黄色いレシートキャンペーン

2027年度の参加団体の申し込み受付は9月以降に始まる予定です。

イオンの各店では、毎月11日に黄色いレシートが発行されます。レシートを専用BOXに投函することで合計レシート金額の1%にあたる品物が地域のボランティア団体などに寄付されるしくみです。応募団体が多い場合は抽選になることもあります。



ボランティアセンターに関することの申し込み・問い合わせは 電話 026-227-3707へ

募集 ボランティアクラブ メンバー募集中

長野市内の中学生を対象とした放課後の活動です。学年や経験は問いません。仲間と一緒にボランティア活動を楽しみましょう。

開催日 毎週水曜日放課後

※夏休み中は時間が異なります

場所 長野市ボランティアセンター

(長野市役所東隣ふれあい福祉センター1階)

★ 市社協ホームページ掲載・無料配布中 ★

2026 ボランティアグループ一覧

グループ一覧はセンター登録団体の活動等を掲載しています



●配布場所
市ボランティアセンター窓口

●市社協ホームページに掲載



市民文庫

ボランティアセンターでは図書の貸し出しを行っています。小説・実用書・絵本の他、視力に自信がない方むけの大活字本も置いています。どなたでも借りることができます。



ボランティアセンター利用状況(5月1日~6月30日)

かわらばんのボランティア募集を見て、ボラセンに来所する方が増えてきました。空き時間を活用したり、お友だちと連れ立って来所されます。せっかく来ていただいたのでボラセンの様子や市内の様々なボランティア活動についてお話をすると、多様な活動に驚いています。

相談内容	件数	相談内容	件数
ボランティアしたい	102	情報提供・求む情報	101
求むボランティア	43	機材や会場に関すること	10
ボランティア活動上の相談	72	寄付に関すること	18
ボランティア活動の要請	41	ボランティア保険の相談	21
福祉教育について	40	ボランティア活動上の悩み	58
ボランティアセンター事業に関すること	26	ボランティア活動以外の悩み	12

求む! ボランティア

窓ガラスに専用のクレパスで絵を描いてくださる方



繕い物や縫物
ボタン付けや裾上げなど
簡単な縫物ができる方

ベルマーク・古切
手の整理や仕分け

